

べいてい じんみんだいぎやくさつゆる
米帝トランプとイスラエルのパレスチナ人民大虐殺許すな

かいけん せんそう あべだとう
改憲・戦争の安倍打倒を

わたし ろうどうしゃ じだい じょうせい おお うご だい じ せ かいたいせん
私たちが労働者を取りまく時代と情勢は大きく動いています。第2次世界大戦
いこう げんだい せ かい し はないたいせい せ かいだいきょうこう ふか
以降の現代世界の支配体制は、世界大恐慌の深まりとともにあらゆるところで
ねもと くず せ かいせんそう せ かいかくめい おお わ め じ だい
根元から崩れつつあります。「世界戦争か世界革命か」の大きな分かれ目の時代
はい ちょうせんはんとう なんぼくぶんだんたいせい う やぶ はじ かんこくろうどうしゃみんしゅう たたか
に入りました。朝鮮半島の南北分断体制を打ち破り始めた韓国労働者民衆の闘
いにつづいて、全世界の労働者による世界革命に進むのか否か。その鍵は安倍打倒
かいけん そし にほん たたか だいけんとう いずみさのしぎせん ふつき ねん
・改憲阻止の日本の闘いです。大健闘した泉佐野市議選、「復帰46年」5・15
おきなわとうそう こうよう ひ つ ほしのふみあき かいほう たかまつだいしゅうかい
沖縄闘争の高揚を引き継ぎ、6・3星野文昭さん解放の高松大集会へ、7・1
こくてつとうそうぜんこくうんどうしゅうかい ちから あ
国鉄闘争全国運動集会へ、ともに力を合わせましょう！

ちゅうとう せん か はな
中東に戦火放つトランプ

ちょうせんはんとう なんぼく べいちょうかいだんじょうせい いっぽう ちょうせんはんとう なら せん ご
朝鮮半島をめぐる南北・米朝会談情勢の一方で、朝鮮半島と並んで戦後70
ねん およ ぶんだん きょうせい ちゅうとう ち べい せいけん
年に及ぶ分断を強制されてきた中東・パレスチナの地で、米トランプ政権とイ
スラエル・ネタニヤフ政権による新たなパレスチナ人民大虐殺が行われまし
た。5月14日、トランプがエルサレムをイスラエルの首都と宣言して米大使館
いてん きょうこう じんみん いか ばくはつ こうぎ こうどう た みんしゅう
の移転を強行したことに、パレスチナ人民の怒りが爆発。抗議行動に立った民衆
ぐん じつだん あ にち こ にん ふく にん ぎやくさつ
にイスラエル軍が実弾を浴びせて、1日で子ども7人を含む60人を虐殺、27
00人を負傷させるという恐るべき事態を引き起こしたのです。

ぎやくさつ ぼうえい けんり い ぜんめんてき
この虐殺をトランプは、「イスラエルには防衛の権利がある」と言って全面的
ようご ぜったい ゆる
に擁護しました。絶対に許せません。

これに先立つ 5 月 8 日には、米英仏独中ロが 2015 年にイランと結んだ「核合意」(イランの核開発制限の見返りに経済制裁解除)からの米国の離脱をトランプ政権が一方的に宣言。これを引き金にイスラエルとイランの間で軍事衝突が始まっています。4 月のシリア爆撃に続いて、米帝は中東においてイスラエルを先兵とする新たな帝国主義侵略戦争を開始したのです。それは同時に、北朝鮮と中国に対する露骨な脅しでもあります。

第 2 次大戦後の米帝は、核兵器をはじめとする強大な軍事力とそれに支えられた「ドルの力」で全世界を支配してきました。だが世界大恐慌と米帝の没落が進行する中、今や米帝自身がこれまでのあり方を暴力的に破壊し、世界の資源・市場・勢力圏の略奪と再分割のための戦争に率先して突入したということです。

中東で起きている事態と朝鮮半島・東アジアをめぐる進行している事態とは本質的に一体です。第 3 次世界大戦、核戦争が現実化しようとしている今、これを阻むのは全世界の労働者階級人民による、各国の支配階級を打倒する世界革命への総決起以外にありません。パククネを打倒した韓国での闘いに学び、続いて、何よりも最大の戦争放火者であるトランプと安倍を打倒する闘いが求められています。

パレスチナ人民の怒りの決起に連帯し、労働者階級のゼネストと国際連帯で戦争を止めよう！ 末期的危機を深めるがゆえにますます改憲・戦争に突き進む安倍を、本当に監獄にたたき込む闘いをやりぬきましょう。

労働者の怒りを示す時だ

4～5月の大激動の中で、日本の階級情勢においても大きな変化が始まっています。5・3銀座デモや5・12那覇国際通りデモは、天皇制右翼の妨害・襲撃を敢然とはねのけて勝ちとられました。この闘いは労働者が団結して実力で闘えば戦争を止められることを示しました。口先だけの「改革」や国会内でのおしやべりではなく、「安倍をたたきのめせ！ 監獄にぶちこめ！」という労働者の怒りの行動です。

一方で、安倍の進める政治となれ合うすべての国会の政党や既成の運動幹部への不信も強まっています。労働者民衆の中には、これまで模索してきた自分たちのもつ力への自信が次第に確信になりつつあります。デモへの破壊襲撃を警戒権力に守られて試みる天皇制右翼の姿を見て、圧倒的多数の沿道の民衆がデモを激励しました。労働者民衆は何が本物かよく見えています。

核基地のままの沖縄返還協定に反対して闘われた1971年の沖縄全島ゼネストに込め、71年11・14渋谷暴動闘争を闘った星野文昭さんは、無実で獄中43年を強いられながら、戦争絶対反対・人間解放を不屈に貫いています。その生き方への共感・感動が広がっています。資本と国家権力への怒りが「星野さんを釈放しろ！ 安倍を監獄へたたき込め」という喚声（かんせい）になろうとしています。

戦争の根源を断つために、人間の人的解放と団結・連帯を求めて闘い続ける人々が膨大にいます。生まれた時から「命より金」の新自由主義社会しか見たことのない青年・学生の中から、根源的な決起が始まっています。京都大学では立て看板の撤去に多数の学生や市民が抗議し反乱しています。とんでもない労働条件下で「働き方改革」を強行しようとするほど、労働者の怒りは拡大します。昨日までおとなしかった労働者が今日も明日もそうだとは限らな

いことを示^{しめ}しましょう。

「働^{はたら}き方改革」法案阻止^{かたかいかく ほうあん そ し}を

「戦争^{せんそう}する国」にするための憲法改悪^{けんぽうかいあく}は、単^{たん}に紙^{かみ}に書^かかれた文章^{ぶんしょう}の改悪^{かいあく}では
ありません。

安倍^{あべ}と大資本^{だいしほん}は、実^じ際^{さい}に労働者^{ろうどうしゃ}を戦争^{せんそう}に動員^{どういん}するために、これに抵抗^{ていこう}する労働^{ろうどう}
組合^{くみあい}を絶滅^{ぜつめつ}しようとしています。安倍政権^{あべせいけん}が不正^{ふせい}・腐敗^{ふはい}の噴出^{ふんしゅつ}でガタガタにな
りながらも、あくまで今国会^{こんこっかい}での「働^{はたら}き方改革」関連法案^{かんれんほうあん}の成立^{せいりつ}を強行^{きょうこう}しよう
としているのはそのためです。8時間労働制^{じかんろうどうせい}を解体^{かいたい}し、労働者^{ろうどうしゃ}には今以上^{いまじょう}に長
時間労働^{じかんろうどう}・低賃金^{ていちんぎん}を強^{きょう}制^{せい}し、労働者^{ろうどうしゃ}の団結^{だんけつ}を破^は壊^{かい}して競争^{きょうそう}・分断^{ぶんだん}にたたき込^こ
むものです。安倍政権^{あべせいけん}は今週^{こんしゅう}中^{ちゅう}にも強行採決^{きょうこうさいけつ}で衆院^{しゅういん}を通^{つう}過^かさせようとしていま
す。絶対^{ぜったい}に許^{ゆる}せません。

国鉄分割^{こくてつぶんかつ}・民営化^{みんえいか}から 31 年^{ねん}。「命^{いのち}より金^{かね}」の新自由主義^{しんじゆうしゆぎ}は社会^{しゃかい}をどこまでも
破^は壊^{かい}してきました。人口^{じんこう}は毎年^{まいとしげきげん}激減^{せんき}し、ローカル線切り捨^すてで地方^{ちほう}は疲弊^{ひへい}し、鉄道^{てつどう}
の安全^{あんぜん}は全面崩壊^{ぜんめんほうかい}の危機^{きき}に瀕^{ひん}（ひん）しています。JR^{じこ}の事故^{じこ}は私鉄^{してつ}の 10 倍^{ばい}
に達^{たつ}し、05 年^{ねん}の JR 尼崎脱線^{あまがさきだつせん}事故^{じこ}を超える大事故^{だいじこ}がいつ起^おきても不思議^{ふしぎ}ではな
い状^{じょう}況^{きやう}です。

こうした中^{なか}で JR は、「第 3 の分割^{ぶんかつ}・民営化^{みんえいか}」を推^おし進^{すす}めるために労働組合^{ろうどうくみあい}の
全^{ぜん}面^{めん}的^{てき}な解^{かい}体^{たい}・一掃^{いつそう}に乗り出^{のりだ}しました。国鉄分割^{こくてつぶんかつ}・民営化^{みんえいか}の先兵^{せんべい}となり、会社^{かいしゃ}と
結託^{けつたく}して現場労働者^{げんばろうどうしゃ}を抑^{おさ}えつけてきた JR 総連^{そうれん}・東^{ひがし}労組^{ろうそ}が資本^{しほん}に使^{つか}い捨^すてられ、
分^{ぶん}裂^{れつ}・崩^{ほう}壊^{かい}しました。これは、安倍政権^{あべせいけん}と JR 資本^{しほん}が一体^{いつたい}とな^なった労働組合^{ろうどうくみあい}の解^{かい}体^{たい}
・再編^{さいへん}に向^むけた動^{うご}きであり、改憲^{かいけん}攻^{こう}撃^{げき}でもあります。その攻^{こう}撃^{げき}の矛^{ほこ}先^{さき}は動^{どう}労^{ろう}千^ち葉^は

を先頭とする動労総連合に向けられています。改憲阻止闘争の勝敗は労働組合をめぐる攻防にかかっています。

この攻防と一体で、いよいよ星野文昭同志奪還の闘いが正念場を迎えています。意見広告運動をあらゆる労組・地域・学園に広げ、6・3高松集会を大成功させましょう。絵画展を各地で開催し、四国地方更生保護委員会あての要望書を集めましょう。

改憲阻止・「働き方改革」関連法案粉碎へ5～6月を闘いぬき、7・1国鉄闘争全国運動集会へ攻め上りましょう！